



もてなしの心で語る わが街

# えな自慢

えな自慢  
えな人 67

## 福沢桃介

木曾川電源開発の父



▲恵那峡を誕生させた福沢桃介

### ひと口メモ

大井ダム工事は難工事。犠牲者が出て人夫の士気が下がったある日、桃介は、両岸に渡したワイヤーからロープ1本でつるした籠かごに乗り、千尋せんじんの谷底へ降りた。これに貞奴かわかみさだやっこも同行したことから、現場の士気が回復したという話が伝わっている。

1924(大正13)年、木曾川に日本初のダム式発電所大井発電所を建設し、恵那峡を誕生させた実業家で政治家。「日本の電力王」や「天才的経営者」ともいわれた。1868(明治元)年埼玉県生まれ。慶應義塾けいおうぎじゅくに在学中、福沢諭吉ふくざわの養子になり、後に諭吉の次女、房と結婚。木曾川の水利権を獲得し、大井発電所の他、八百津発電所や落合発電所などを建設した。また矢作水力(現中部電力)、大同電力(現関西電力)などの設立を次々に行った。日本初の女優川上貞奴かわかみさだやっこと大井ダムの建設に力を注いだ物語は、NHKで放映された。



▲恵那峡湖畔を見下ろす桃介像

## 中山道広重美術館

浮世絵版画の殿堂

えな自慢  
えな館 68



▲恵那駅前中央通りに面して建つ美術館

### ひと口メモ

所蔵美術品は、市内在住の浮世絵収集家田中春雄氏寄贈の「田中コレクション」が中心。摺りの時期の早い、色鮮やかな浮世絵版画。また当市出身の故吉村トシ子氏寄贈の日本画、洋画、茶碗などの「吉村コレクション」も所蔵している。

恵那駅前中央通りにある歌川広重うたがわひろしげの浮世絵版画を中心とした美術館。収蔵品は、世界でも数少ないといわれる歌川広重・渓斎英泉けいさいえいせんの揃物そろいもの「木曾海道六拾九次之内」など約1,000点を数える。展覧会は、浮世絵版画を中心として毎月開催する企画展の他、年に数回の特別企画展を行い、足を運ぶたびに異なった作品が鑑賞できる。また浮世絵のことを楽しく学べる浮世絵ナビルームでは、浮世絵の重ね摺りを簡単に体験することができるなど、好評を得ている。恵那駅周辺再整備事業の締めくくりとして、街ににぎわいを取り戻すため建設。公募型プロポーザルによる設計を経て、2000(平成12)年に着工。2001(平成13)年9月に開館した。昨年、開館10周年を迎えた。



▲広重美術館では、多くの企画展が開催されている

次号は3月15日号  
発行日は3月15日(木)です

広報えな No.169  
2012年(平成24年)  
3月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係  
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎(0573)26-2111/☎25-6150  
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』3月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.4円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム(登録用QRコード)  
市WEB版文字放送システム(閲覧用QRコード)  
□お問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。  
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

